



自分に正直に やりたいことは全力でやること

◇今回は、武藤範美さん（中京大学国際英語学部国際学専攻）のレポートです！

◆はじめに

はじめまして。私は、2013年度卒業生の武藤範美といたします。2017年度に中京大学国際英語学部国際学専攻を卒業し、現在IT系の企業で社会人1年目として働いています。

私は他の卒業生とは違い、特に部活を打ち込んだわけでもなく、特別成績がよかったわけでもありませんでした。ここでは、進路での悩み、大学生活について書かせて頂きます。

◆進路に関して

大学選びで悩んでいる人。何したいか分からない人が大半だと思います。

この大学がかっこよさそうだから入る、ブランド力があるから、地域で選ぶのも全然いいと思います。しかし周りや親、先生が決めて、自分が少しでも納得していない大学、学部は選んで欲しくありません。

なぜなら私がそのような進路を進みそうになったからです。自分の進路だから、自分で選んだところへ行ってほしいと思います。

私は昔から、洋楽、洋画、海外の文化歴史に興味がありました。ずっと外国語学部に入ると高校1年生の時から決めていました。周りの人たちからは英語を学んだだけでは社会で通用しない、この世の中英語はできて当たり前だと言われました。周りも経営学部や経済学部を選ぶことが多かったので、とりあえず経営学部を志望しました。

しかし受験が近づいてくるにつれて、再び英語を学びたい気持ちが出てきました。出願ぎりぎりになり、一つだけ英語が学べる学部を選びました。第一志望ではなかったのですが、今思えば中京大学国際英語学部に行き、好きなことを学べて良かったと思いました。

何か少しでも興味のあることに繋がりそうな学部や、地域、キャンパスが綺麗だから、そんな些細なことから大学を選んでもいいかもしれません。

自分が行きたいと思ったら、きっとその大学でも頑張ることができると思います。部活や学校で忙しい関高生だとは思いますが、勉強で行き詰まったときは息抜きに自分は何がしたいのか、どんな大学生になりたいかを考える時間を作ってください。

◆私を変えるきっかけになった留学

平凡、あるいはそれ以下だった私を成長させてくれ、変えるきっかけになったのは10ヶ月の交換留学だと思います。

私が留学したのはカリフォルニア州立大学チコ校です。カリフォルニア州立大学の中で2番目に古い歴史ある大学でした。専攻はビジネスにし、ビジネスを中心に学び、他にも、アジア文化、社会学、アメリカでしか学べなそうなジェンダーの授業も履修しました。

留学中にトランプ政権が誕生したことは、とても貴重な経験となりました。

日本の学校と大きく違うと思ったことは常に考えることと、自分の意見を出すことを重要視していることです。自分の意見をしっかり持つことは就職活動、社会人になってからも役立ちました。



留学中は14人のハウスメイトと寮に住んでいました

また私は留学を通して、様々な人と関わったことで自分の考え方を広げることができました。色々な角度から考えることができるようになったことが現在働く上で大切なことであったのだなと思いました。留学に行かなくても時間のある学生中に、できるだけ幅広い人脈、例えば他学部、他大学、年齢の離れた人、大学外での関わりを作るといいと思います。

◆最後に

大学生活は自分次第。自分自身、変わることができると思います。自分の時間をこんなにも自由に使えるのは大学生だけです。わたしも遊んでアルバイトしてばかりの大学生活でしたが、何か一つぶれない目標があれば思いっきり楽しんでいいと思います 笑

後悔しないように、自分のやりたいことを全てやってください。進路で迷っている方は、先生、親、先輩を思う存分頼っていいと思います。

答えを見つけることすぐには難しいかもしれませんが、きっといい方向に進めることができると思います。大学がどこになったとしても、変わることができるので、全力で大学生活を楽しんでください。